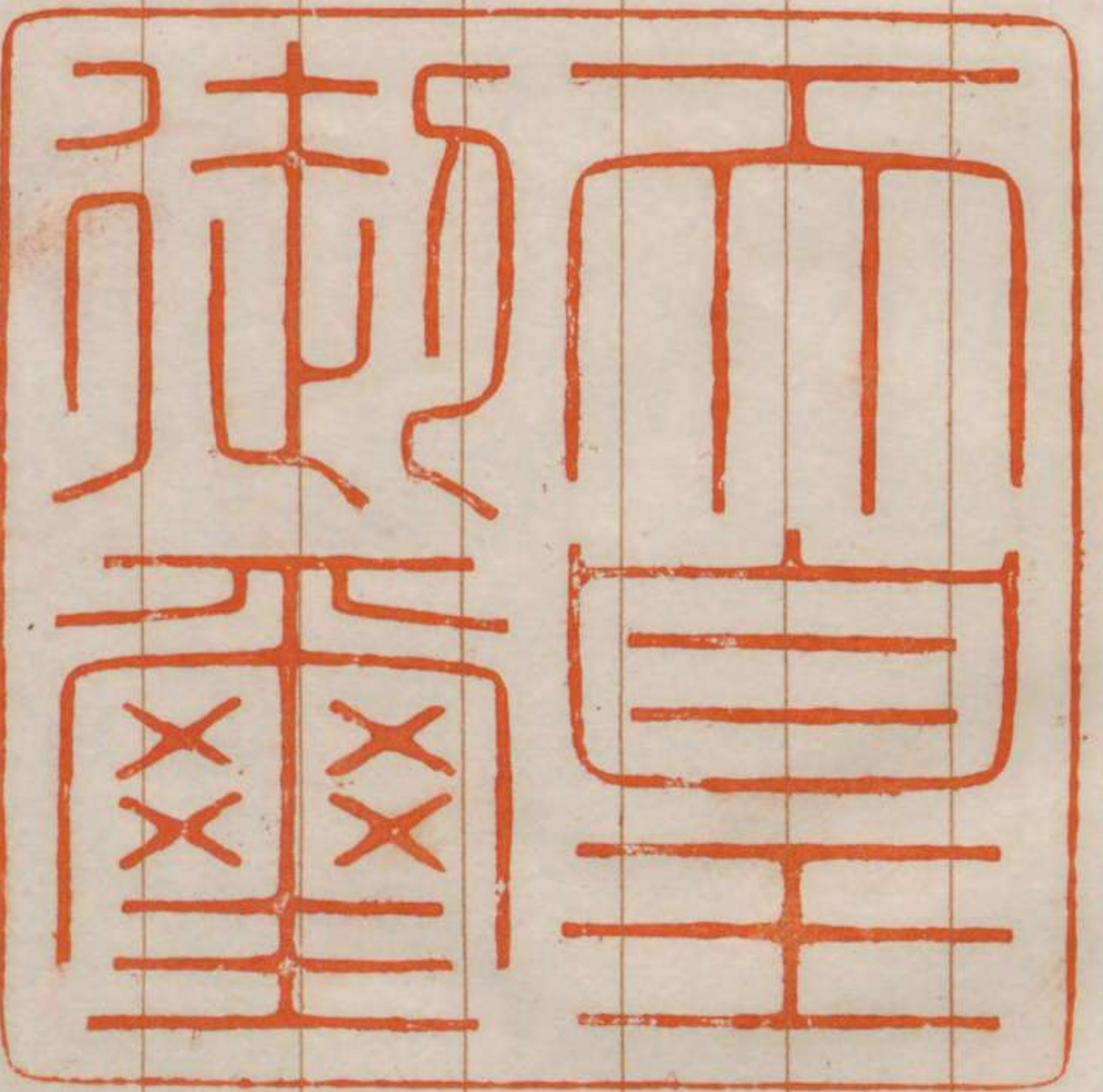


法律博士



朕衆議院議員選舉法罰則補則裁
可之茲之ヲ公布セシム

睦仁



明治二十三年五月二十九日

月 日

内閣總理大臣伯爵山縣有朋
内務大臣伯爵西郷從道
司法大臣伯爵山田顯義

法律第四十號

衆議院議員選舉法罰則補則

第一條 投票ヲ得又ハ他人ニ投票ヲ得
セシメ若クハ他人ノ為ニ投票ヲ為ス
コトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ選舉會
場又ハ投票所ノ近傍若クハ選舉人往
來ノ途中ニ於テ選舉人ニ酒食ヲ供シ
又ハ選舉會場若クハ投票所ニ往復ス
ル為車馬ノ類ヲ給シ及其供給ヲ受ケ
タル者又ハ選舉人ノ為ニ選舉會場若

クハ投票所ニ往復スル車馬賃又ハ路
費若クハ休泊料ノ類ヲ代辨シ又ハ代
辨スルコトヲ約束シ及其代辨又ハ約
束ヲ受ケタル者ハ衆議院議員選舉法
第九十條ノ例ニ依リ處斷ス

第二條 第一條ニ記載シタル目的ヲ以
テ選舉人ヲ脅逼シ拐引シ若クハ其往
來ノ便ヲ妨ケ若クハ詐偽ノ手段ヲ以
テ其選舉權ノ施行ヲ妨害シタル者ハ
衆議院議員選舉法第九十二條ノ例ニ

依リ處斷

本條ニ記載

條ニ記載シタルハ

衆議院議員選舉

依リ處斷ス

第三條

被選人タル

シテ被選人タルコ

ヲ承諾スルノ意ナ

セシメタル者ハ五圓以上五十圓以下

ノ罰金ニ處ス



所業ヲ為シテ第一
的ヲ達シタル者ハ

第九十三條ノ例ニ

得ル者ヲ指

得ス又ハ當選

ノ虚報ヲ流傳

罰金

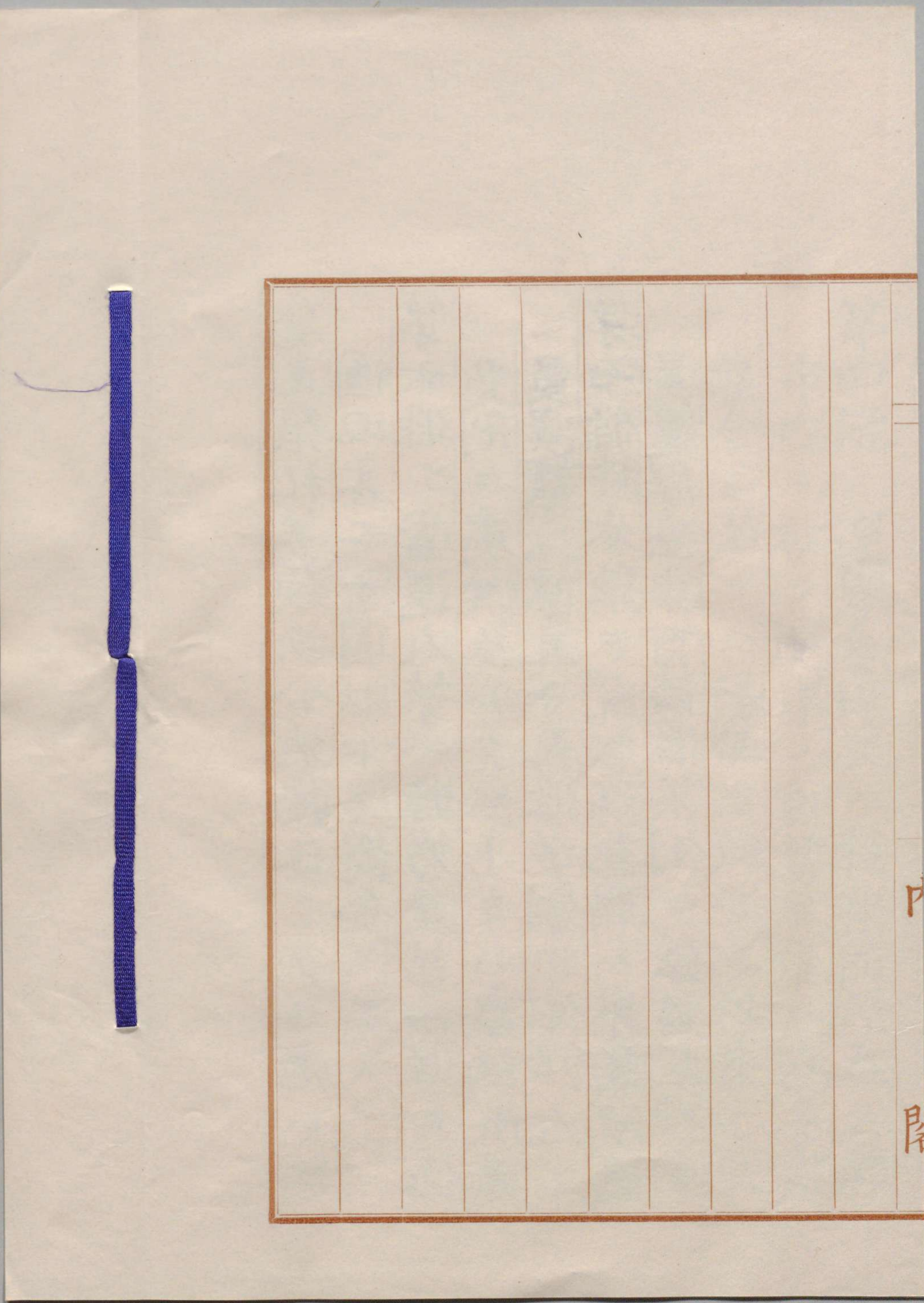
クハ投票所ニ往復スル車馬賃又ハ路
費若クハ休泊料ノ類ヲ代辨シ又ハ代
辨スルコトヲ約束シ及其代辨又ハ約
束ヲ受ケタル者ハ衆議院議員選舉法
第九十條ノ例ニ依リ處斷ス
第二條 第一條ニ記載シタル目的ヲ以
テ選舉人ヲ脅逼シ若クハ其往
來ノ便ヲ妨ケ若クハ詐偽ノ手段ヲ以
テ其選舉權ノ行使ヲ妨害シタル者ハ
衆議院議員
第九十二條ノ例ニ



依リ處斷ス
本條ニ記載シタル所業ヲ為シテ第一
條ニ記載シタル目的ヲ達シタル者ハ
衆議院議員選舉法第九十三條ノ例ニ
依リ處斷ス
第三條 被選人タルコトヲ得ル者ヲ指
シテ被選人タルコトヲ得ス又ハ當選
ヲ承諾スルノ意ナシトノ虚報ヲ流傳
セシメタル者ハ五圓以上五十圓以下
ノ罰金ニ處ス

第四條 選舉會場又ハ投票所所在ノ郡
市内ニ於テ選舉ノ氣勢ヲ張ル為多衆
集合シ若クハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又
ハ篝火松明ヲ焚キ若クハ鐘鼓法螺喇
叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其他ノ標章ヲ用
井ル等ノ所業ヲ為シ警察官ノ制止ヲ
受クルモ仍其命ニ從ハサル者ハ十五
日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓
以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第五條 第一條ニ記載シタル目的ヲ以

テ張札ノ類ヲ公然揭示シタル者ハ二
圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス
第六條 當選人第一條乃至第四條ニ依
リ刑ニ處セラレタルトキハ衆議院議
員選舉法第九十九條ノ例ニ依ル
第七條 本法ニ關スル犯罪ハ衆議院議
員選舉法第一百四條ノ例ニ依ル



内

附